

最近の状況: 東アジア・太平洋地域（EAP）の成長は、2022年に急減速した後、経済活動再開とコロナ感染者の大幅な減少による中国の力強い回復に支えられて持ち直しつつある。中国経済は2023年に入り、コロナ後の繰越需要により消費が押し上げられたことで、力強く回復した。小売り売上高は跳ね上がり、工業生産も幾分の伸びを示した。経済活動を支えたのは、対面サービス部門の回復と中国の旧正月期間の堅調な支出や旅行、そして出稼ぎ先に戻る労働者である。2022年に強化されたインフラ関連の財政刺激は、不動産部門の低迷を補うのに貢献した。同部門は膨大な債務に苦しんできたが、このところ、長期低迷からの脱却の兆候も不確実ながら見え始めている。未完成インフラ・プロジェクトの完成や同セクターへの信頼回復を徹底するための政策の結果、より多くの都市において不動産価格が上昇している。

域内の他の国では、マレーシア、フィリピン、ベトナムで2023年に入り、それまでの経済活動再開による好影響が薄れ、成長が減速した。消費の伸びは引き続き堅調なもの、世界的な需要低迷と中国の財貿易比率の高い部門の停滞のため、財の貿易が安定的な回復に至らず後退した。しかし、サービス貿易にとっては、中国の海外渡航制限解除を受けた観光客増加により世界の観光需要回復の継続が追い風となった。

今後の見通し: 2023年の地域成長率は、中国の回復が他の複数の国の成長減速を補い5.5%に上昇するとみられる。2024年と2025年は、地域全体が安定成長に移行する一方で中国の成長ペースが減速するため、それぞれ4.6%と4.5%へとやや減速する見通しである。1月時点の予測と比較した地域成長率は、2023年は1.2%ポイント上回り、2024年は0.3%ポイント下回るとみられる。その主な要因として、中国の成長率が予想より早い経済活動再開を受け2023年は1月時点の予測より1.3%ポイント上方に、2024年は0.4%ポイント下方にそれぞれ修正されたことが挙げられる。

中国では、経済活動再開に加え、コロナ危機で生じた過剰貯蓄が、サービス部門を中心とする個人消費を押し上げるため、2023年に5.6%の回復が見込まれる。その後、活動再開の効果が薄れ、2024年には4.6%、2025年には4.4%へと減速するとみられる。投資は本年、インフラ関連の財政刺激策と不動産部門の段階的回復に後押しされ、緩やかな伸びが見込まれる。インフレ率は、労働市場を含む経済諸部門の需給ギャップを踏まえると引き続き目標を下回るとみられる。

中国を除く域内諸国全体の2023年成長率は、経済活動再開と繰越需要の追い風が衰えて4.8%になるとみられる。中国の景気回復による域内経済へのプラスの波及効果は、回復が国内のサービス活動に集中しているため、限定的になると予想される。加えてそのプラスの影響も、国内の逆風、特にインフレ率上昇と国内の金融引締め政策の効果が続くことで、打ち消されるとも考えられる。インフレ率は2023年を通じて総合指数もコア指数も低下が予想されるものの、モンゴルとフィリピンでは総合指数が中央銀行のインフレ目標を上回ったまま推移するとみられる。背景には、世界の一次産品価格上昇の転嫁が遅れて発生することと国内供給ショックがある。素材価格の下落は、今年のインフレ率総合指数低下に資する半面、インドネシアを含む一次産品輸出国の交易条件を悪化させもする。

リスク: 地域全体のベースライン予測にはいくつかの下振れリスクが存在する。具体的には、予想以上に逼迫した国内外の金融環境、高インフレの継続、中国で依然として低迷する不動産部門とコロナ後の回復の予想より早い息切れなどがある。地政学的緊張の激化もさらなる下振れリスクとなる。また、太平洋の小島嶼国に特に大きな打撃をもたらしかねない気候変動による異常気象などの自然災害も同様である。

報告書本体をダウンロードする:<https://bit.ly/GEPJune2023FullEN>

East Asia and Pacific Country Forecasts

(Annual percent change unless indicated otherwise)

	2020	2021	2022e	2023f	2024f	2025f
GDP at market prices (average 2010-19 US\$)						
Cambodia	-3.1	3.0	5.2	5.5	6.1	6.3
China	2.2	8.4	3.0	5.6	4.6	4.4
Fiji	-17.0	-5.1	16.1	5.0	4.1	3.5
Indonesia	-2.1	3.7	5.3	4.9	4.9	5.0
Kiribati	-1.4	7.9	1.2	2.5	2.4	2.3
Lao PDR	0.5	2.5	2.7	3.9	4.2	4.4
Malaysia	-5.5	3.1	8.7	4.3	4.2	4.2
Marshall Islands	-2.2	1.1	1.5	1.9	2.1	2.3
Micronesia, Fed. Sts.	-1.8	-3.2	-0.6	2.9	2.8	1.3
Mongolia	-4.4	1.6	4.7	5.2	6.3	6.8
Myanmar^a	3.2	-18.0	3.0	3.0
Nauru	0.7	1.5	3.0	1.0	2.0	2.5
Palau	-8.9	-13.4	-2.8	12.3	9.1	4.7
Papua New Guinea	-3.2	0.1	4.5	3.7	4.4	3.1
Philippines	-9.5	5.7	7.6	5.6	5.9	5.9
Samoa	-3.1	-7.1	-6.0	5.0	3.4	3.3
Solomon Islands	-3.4	-0.6	-4.1	2.5	2.4	3.0
Thailand	-6.1	1.5	2.6	3.6	3.7	3.5
Timor-Leste	-8.3	2.9	3.5	3.0	3.2	3.2
Tonga	0.5	-2.7	-2.0	2.5	2.8	2.6
Tuvalu	-4.9	0.3	0.6	4.2	3.1	2.6
Vanuatu	-5.0	0.6	1.9	0.5	4.0	3.9
Vietnam	2.9	2.6	8.0	6.0	6.2	6.5

Source: World Bank.

Note: e = estimate; f = forecast. World Bank forecasts are frequently updated based on new information and changing (global) circumstances. Consequently, projections presented here may differ from those contained in other Bank documents, even if basic assessments of countries' prospects do not significantly differ at any given moment in time.

a. Forecast for Myanmar beyond 2023 are excluded because of a high degree of uncertainty.